



(一社)カーボンリサイクルファンド(CRF)とは

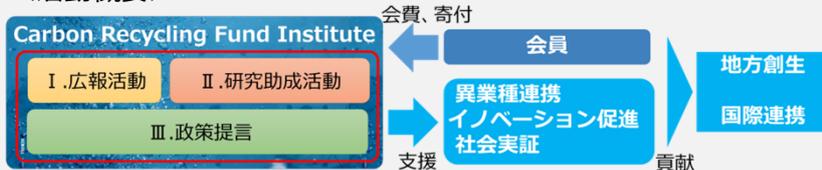
<設立趣旨>

気候変動問題とエネルギーアクセスの同時解決のため、CO2を資源としてとらえる炭素循環(カーボンリサイクル)に係る研究助成活動や広報活動等により、カーボンリサイクルイノベーション創出支援を実施し、循環炭素社会(次頁イメージ参照)実現に貢献

会長 / 福田信夫 (三菱ケミカル(株) 代表取締役)

副会長 / 北村雅良 (電源開発(株) 特別顧問)

<活動概要>



<会員企業一覧>

119社・25個人・13自治体・17学術(2023年4月1日時点)

Table listing member companies across various industries including Chemicals, Energy, Power, Precision/Electronics, and others.

CRFの研究助成活動とは

<研究助成活動の趣旨>

- CRFは、炭素循環(カーボンリサイクル)のイノベーションの創出の重要性に着目しており、CRF研究助成ファンドによるグラントの公募を5月中旬頃に開始いたします。
組織は問わず、研究者個人(又はチーム)でご応募頂きます。2050年カーボンニュートラルに資する研究成果を期待しており、化学品・燃料転換、鉱物化をはじめバイオ等のネガティブエミッションなど幅広い分野からの応募を可能としています。
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)等と連携したプログラムになっており、過去の成果が国プロジェクトにつながった例もございます。また、ビジネス化に向けての支援をさせて頂いております。
CRFはカーボンリサイクル大学(ワークショップ形式の教育プログラム)を実施するなど、人材育成に力を入れており、若手研究者(40歳以下)からの多くの応募を期待しております。
なお、趣旨は同様ですが、応募様式が簡易なスタートアップ枠を設けています。

<研究助成活動の概要>

本助成活動の一環としてスタートアップ枠を設置します。一般公募枠とスタートアップ枠は併願可能です。

一般公募枠

本活動の主たる公募枠。

スタートアップ枠

趣旨は同様で、募集様式を簡略化した公募枠

<公募掲載サイト>

- 一般公募枠: CRFのWebサイト https://carbon-recycling-fund.jp/research_grant_activities/grant_application/
スタートアップ枠: Creww Growth (Creww株式会社) https://growth.creww.me/?utm_source=creww.me
公募時期: 2023年5月10日~6月15日を予定
ご質問等あればお気軽にお問合せ下さい。
担当: イノベーション部・鹿島・塩形/メール: grant@carbon-recycling-fund.jp
過去の公募概要はこちらをご覧ください。

昨年度の公募 https://carbon-recycling-fund.jp/research_grant_activities/grant_application/8719

これまでの採択実績 https://carbon-recycling-fund.jp/research_grant_activities/grant_achievements_list



公募概要

助成対象
(期待する対象)

大学や企業、法人等の研究者又は研究チーム。(特に**若手研究者(40歳以下)の方からの応募**を期待。
スタートアップ枠は、シードステージ/アリーステージのスタートアップ企業や起業予定の研究者の方からの応募を期待。)

募集テーマ
(具体例)

社会的課題を解決するため、CO₂ (あるいは炭素原子、炭素を含む材料) を資源として利用するカーボンリサイクルや気候変動対応に資する技術

(具体例)

- CO₂分離回収(直接空気回収)・固定化技術(鉱物化)
- 燃料・化学品へのCO₂転換技術
- 社会科学やカーボンリサイクル普及に向けた制度設計(CO₂価値付け)等の分野
- 炭素資源(プラスチック等)の循環に係る技術
- 生物等を活用した技術(細菌・バクテリア等・バイオミミック含む)
- カーボンリサイクルの価値向上に係る技術(AI/IoT技術によるCO₂の見える化、CO₂を使った高付加価値材へ転換等、一般市民へ訴求力のある技術)
- CO₂吸収源(土壌、森林・植林、ブルカーボン、農林水産等)活用によるネガティブエミッション分野
- その他(水素製造・アンモニア製造、気候変動対応に資する技術、機能性材料、医療分野等)

助成期間

2年以内を目途

助成規模

●一般公募枠：上限1,000万円・10件程度 ●スタートアップ枠：上限1,000万円・数件程度

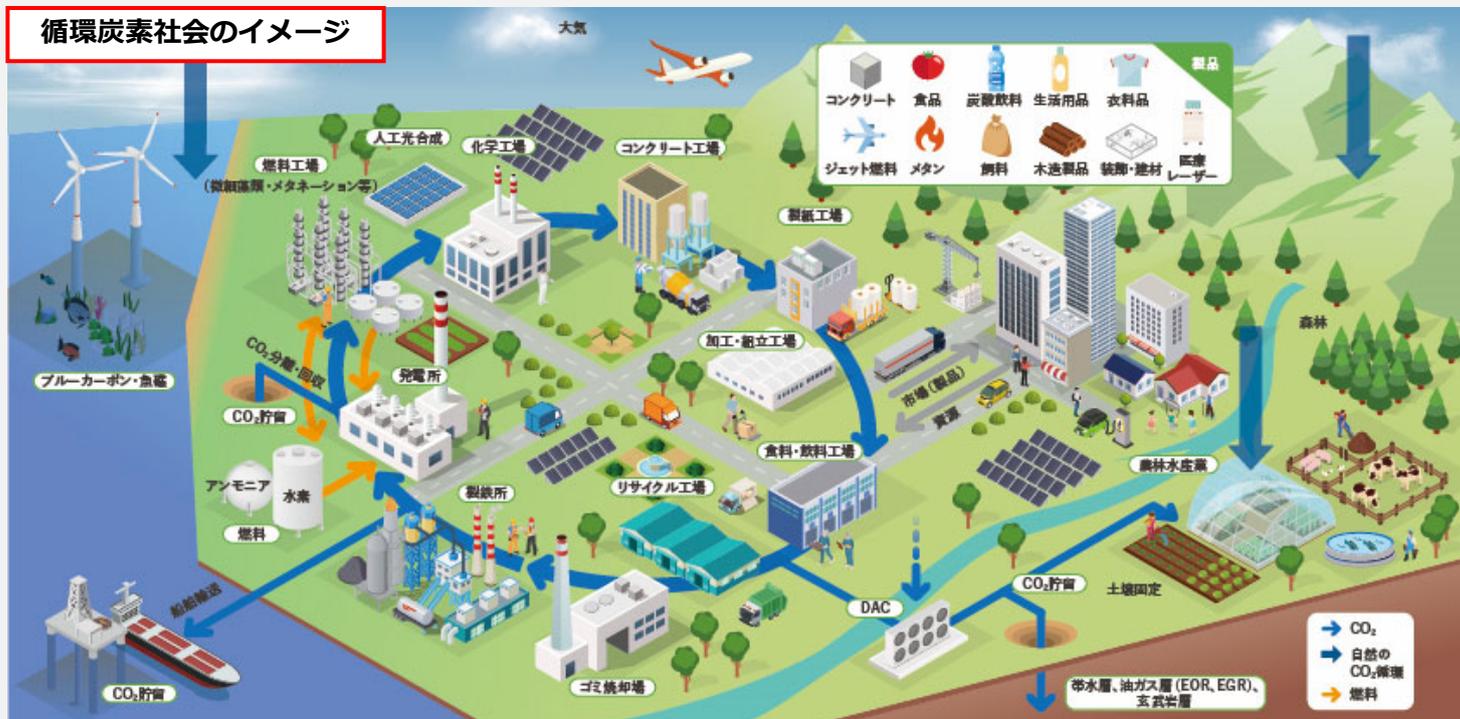
研究の成果等

基本的に助成対象者に帰属します。

その他

一般公募枠とスタートアップ枠は併願可能

循環炭素社会のイメージ



＜スタートアップ枠について＞

- 一般公募枠と同様の趣旨で実施。但し、書類を簡素化(質問表への記入と自由書式資料+動画(任意)を予定)
- シードステージ/アリーステージのスタートアップ・中小企業・法人や起業予定の研究者の方からの応募を期待した見返りを求めないGAPファンド※1の様な助成。

※1：大学等が、自立的かつ機動的に大学研究室へ比較的少額の開発資金(試作開発・試作テスト資金など)を供与して基礎研究と事業化の間に存在するGAP(空白・切れ目)を埋めることにより、大学先端技術の技術移転や大学発スタートアップ創出を促していく基金

注意：現時点の計画であり、今後の検討で変更がある可能性があります。詳細は公募開始後に募集ページをご覧ください。